

議会運営委員会からの報告

第7回「井戸ばた会議」 ～町民と議会との対話～

11月29日(水)、バスターミナルにて「第7回井戸ばた会議～町民と議会との対話～」を開催しました。



冒頭、熱電併給の経過についての質疑応答があり、その後、参加者11人が3つのグループに分かれ、進行役と書記役の議員と共に30分程度の対話。席替え後さらに30分程度の対話を行い、最後にご意見用紙への記入、個別の対話の時間を設けました。

今回も多様なご意見をいただきましたので、全てを網羅することは叶いませんが、一部をご紹介します。

民意の反映	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画策定だけではなく早い段階から町民意見が幅広く反映できる話し合いの場が必要 ・上名寄集住化・研修道場は話し合いながら進めてきたが違ってきている
ハコモノ	<ul style="list-style-type: none"> ・建物ばかり作り分散している ・住みたいところに住めるトレーラーハウスみたいなものも必要では ・コモレビと宿泊施設なぜ一体化しなかったのか ・施設に投資するより人に投資すべきでは ・公共施設の外観が黒っぽく、下川グリーンなどもう少し明るい外壁にしては
林業大学	<ul style="list-style-type: none"> ・モンゴルからの研修者が下川の取組に感銘を受け、林業大学がないのが疑問とのこと ・下川から発信する誘致運動が起きてもいいのではないか
サンルダム事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・改修費もかかるし他にも公共施設を持ち過ぎ。壊してもらった方が良い ・壊すにはもったいない。サテライトオフィスなど会社が入居できる ・壊してもらって宅地分譲など土地利用をした方が良い
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ働ける定年退職者の活躍の場づくりを ・個々人の「できること」と「して欲しいこと」をつなげる仕組みが必要
介護施設	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が少なく定員どおり入所できない状況に対策を ・移住者で親を呼び寄せたいけど施設や住宅がなく、転出して親の面倒を見る人がいる
ジャンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・下川に社会人ジャンパーがいるようにできないか ・合宿誘致とか社会人チームがトレーニングする環境づくりとか
企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・建物に補助したりしているが、従業員が数人だったり投資に見合う効果があるのか検証を
公区	<ul style="list-style-type: none"> ・会館は冬季間の除雪がしっかり行われていなかったり水を落としていたりして使えない ・様々な会議に最低限公区長と副公区長は出ると公区に動員がかかり、負担が増し、公区活動に出る町民が減る